

2020年度実施方針

イノベーション推進部

1. 件名

宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業（ベンチャー企業等による宇宙用部品・コンポーネント開発助成）

2. 根拠法

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構法第15条第3号及び第9号

3. 背景及び目的・目標

我が国政府は、宇宙関連産業の技術戦略として、2016年3月に「宇宙用部品・コンポーネントに関する総合的な技術戦略」を制定し、その中で、今後、政府が実施すべき取組として、技術戦略ロードマップを策定することにより、同産業に関係する者の分担・協力を明確にし、効率的な技術開発のための取組を促すとともに、外需・民需も見据えた適切な開発目標の設定と戦略的な研究開発の推進、宇宙実証機会の拡大と効果的な活用、JAXA部品認定制度の国際的な認知度向上等による輸出環境の改善、部品及びコンポーネントの輸出拡大に向けた取組、自動車部品等の他産業技術の積極的な活用、PDCAサイクルのための体制の構築などを掲げている。

また、2017年5月に策定された「宇宙産業ビジョン2030」では、宇宙産業の振興に向けて、中小・ベンチャー企業等をはじめとした新規参入者の層を拡大させるとともに、新規参入者の事業化・成長への取組を積極的に後押しし、市場の活性化を図っていくことが重要であると指摘されているところ。

以上のことから、本事業では、潜在的技術を有する中小・ベンチャー企業等の保有する技術シーズを活用し、人工衛星等の宇宙用部品・コンポーネントの開発に係る研究開発の一部を支援することで、宇宙機器産業の裾野を広げると共に、人工衛星等の高信頼性・低コスト化を実現し、我が国の宇宙機器産業の競争力強化を目指す。

4. 実施内容及び進捗状況

4.1 2018年度～2019年度 事業内容

2018年度は、宇宙用部品・コンポーネントに係る研究開発テーマの公募を実施、6件を採択した。また、各機関と連携したシームレスな支援として、宇宙ビジネスに関する投資マッチング・プラットフォーム（S-Matching）を創設し、事務局として運用を開始した。

2019年度は、2018年度からの継続事業として5件を実施。また、S-Matchingの一環としてピッチイベントを実施した他、宇宙ビジネス専門人材プラットフォーム（S-Expert）を創設し、事務局として運用を開始した。

4. 2 実績推移

年度	予算執行額	勘定	応募 件数	採択 件数	倍率
2018年度 (平成30年度)	87百万円	一般勘定	11件	6件	1.8倍
2019年度	89百万円	一般勘定	2019年度公募なし		

※なお、2019年度については、契約額を記載。

5. 事業内容

5. 1 事業概要

潜在的技術を有する中小・ベンチャー企業等が有する優れた技術シーズを、人工衛星等の宇宙用部品・コンポーネントの開発に適用し、迅速に実用化に繋げることで、宇宙産業の国際競争力の強化の一助となる。

実施にあたっては、潜在的技術を有する中小・ベンチャー企業等から広くテーマを公募し、有望な開発テーマを選定し、課題解決のための研究開発を助成する。

また、各機関と連携しながら、宇宙ビジネスの活性化を図るため、宇宙ビジネス投資マッチング・プラットフォーム(S-Matching)や宇宙ビジネス人材プラットフォーム(S-Expert)の運用、マッチングイベントの実施等、シームレスな支援を行う。

5. 2 事業方針

(1) 助成要件

① 対象事業者

助成対象事業者は中小・ベンチャー企業等を対象とする。

② 対象研究開発テーマ

人工衛星等の宇宙用部品・コンポーネントの開発に関するテーマ

(2) 助成条件

① 実施期間

3年以内(ただし、事業期間が2021年度までの為、2020年度以降に開始するものについては、最長でも終了年度までの期間とする。)

② 規模・助成率

・ 助成額

1件1年間当たり20百万円以内

- ・ 助成率
2 / 3 以内

(3) その他

各機関と連携しながら、宇宙ビジネスの活性化を図るため、宇宙ビジネス投資マッチング・プラットフォーム (S-Matching) や宇宙ビジネス人材プラットフォーム (S-Expert) の運用、マッチングイベントの実施等、シームレスな支援を行う。

6. 事業の実施方式

6. 1 実施体制

別紙を参照。

6. 2 公募

(1) 掲載する媒体

「NEDOホームページ」及び「e-Radポータルサイト」で行う。

(2) 公募開始前の事前周知

公募開始の約1か月前に、NEDOホームページで行う。本事業は、e-Rad対象事業であり、e-Rad参加の案内も合わせて行う。

(3) 公募時期・公募回数

2020年2月以降に1回実施予定

(4) 公募期間

原則40日間程度とする。

(5) 公募説明会

全国各地で経済産業局等と連携して開催する。

6. 3 採択方法

(1) 審査方法

e-Radシステムへの応募基本情報の登録は必須とする。外部有識者（学識経験者、業界の経験者等）による事前書面審査・審査委員会を経て、契約・助成審査委員会により決定する。審査委員会は非公開のため、審査経過に関する問い合わせには応じない。審査委員は採択結果公表時に公表する。なお、申請者に対して、必要に応じてヒアリング等を実施する。

(2) 審査等の期間

公募締切から原則70日間以内とする。

(3) 採択結果の通知

採択結果については、NEDOから申請者に通知する。なお、不採択の場合は、その明確な理由を添えて通知する。

(4) 採択結果の公表

採択テーマについては、申請者の名称、採択テーマの名称・概要を公表する。

7. その他重要事項

7. 1 評価

各実施テーマについて、必要に応じて中間評価または事後評価を行う。

2019年度 中間評価：2テーマ、事後評価：1テーマ

2020年度 事後評価：3テーマ（予定）

7. 2 来年度の公募について

事業の効率化を図るため、2020年度中に2021年度の公募を開始する。

8. スケジュール（予定）

開発助成事業の公募に関する予定

2020年

2月	公募予告
2月～3月	公募説明会の開催
3月	公募開始
4月	公募締切
5月	契約・助成審査委員会
6月	採択決定及び通知

9. 実施方針の改訂履歴

2020年 2月、制定。

(別紙) 実施体制スキーム図

